

令和6年度 4 月 定例教育委員会会議録

令和6年4月16日(火)

山梨市教育委員会

令和6年度4月 定例教育委員会 議事録

令和6年4月16日(火)午前10時から、山梨市役所401会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 前回議事録の承認
- 5 報告事項
- 6 連絡事項
- 7 閉会

○出席者

教育長	嶋崎 修
教育長職務代理者	天野 有紀
教育委員	矢野 眞由美
教育委員	窪田 新治
教育委員	原 喜雄

○欠席者

教育委員	鈴木 徹
------	------

○事務局職員出席者

学校教育課 課長	磯村 賢一
学校教育担当 教育監	小串 吾郎
学校教育担当 指導主事	内藤 健
学校総務担当 リーダー	大島 芽久美
学校総務担当(議事録作成者)	小田切 咲紀
学校管理担当 リーダー	高原 あゆみ
学校給食センターリーダー	上野 治美
生涯学習課 課長	武井 学
生涯学習担当 リーダー	廣瀬 ひろみ

4 協議事項の内容

教育長

議事に入る。

今回事務局からの議事はないが、教育委員の皆様から何か議題としたいものはあるか。

教育委員

なし。

5 報告事項

(1) 学校の在り方検討委員会について

小串教育監 説明・・・8月の令和7年度主要事業の説明までには体制を整えていきたい。

委員の構成として、保護者代表の他に中学校のコミュニティスクールの代表者にも入っていただき地域の方の意見を取り入れながら検討していきたい。また、学校関係者や学識経験者に入っていただくことも検討している。

教育長

運営協議会のメンバーを見ると、小学校がPTAで中学校が運営協議会という分けになっているが、その辺の整合性はいいか？

教育監

小学校は中学校より身近なところに根ざした学校になるので、8校のPTAの会長を委員としたい。コミュニティスクールの会長は、それぞれの中学校区で広域にわたって関わってくださる地元の方なので、そこで全てカバーできるというふうに考えている。

教育長

他市の統廃合の話が出ている地域でも、大筋は賛成だが、部分部分で反対の声や、

心配する声が上がっているとのこと。きめ細かに子どもたちにも今後のことを話してもらう上で、保護者とか学校運営協議会の中でも少し説明はしてきたところである。

原委員

意見ではないが、ある地区を見ていると、保護者は、子どもの人口の減少に伴い仕方がないと考えている。ただよくあるのは、地域の方が、地域に学校がなくなることに拒否感を示す。地域でこちらの支えになってくれる人を、特に小学校区で作っていくべき。これから何かあった時に、学校を擁護してくれたり、説明を地域の人にしてくれる人が必要。学校側の方がいくら説明しても聞き入れない部分があるが、地域の方が納得した代表の方が小学校区で細かい段階で説明すると、少しトーンダウンしてくれると思う。そういう意味では地域の代表が中学校は3人というのが心配である。

教育長

もう一つ、気になるのはPTAも色々な決め方があって、副会長になるパターンもあれば、じゃんけん等で六年生の中でしょうがなくという方もいるから、PTA会長ばかりだと、責任の所在がどうなるかということである。

天野委員

十年後を見据えてということで委員になっているPTA会長のお子さん達は、十年後にはもう学校を卒業している年代である。自分の子どもが十年後に上がる学校がどうなるのか興味を持っている保護者の方もいると考え、現在の会長の年代よりも、もう少し下の世代の保護者の方たちにも関わってもらうことも色々な意味で意見が吸い取れる、もしくは、その前の段階で、そういう会を各学校で設けていただいて、意見を吸い上げていただくような仕組みがあるとよいのではないかと思う。また、PTA会長というと、割と男性の方が多かったりするので、女性の目線、母親として、身近で子育てをす

る方たちの目線での意見を吸い上げていただけるような仕組みもあるとより良いと感じる。

窪田委員

委員の構成について、丁寧にということでも全小学校のPTA会長を入れるということであれば、3人増やして中学校の会長も入ってもいいのではないか。もう一つは学校関係者が校長会、教頭会だけだが、平の先生方の考え方を取り入れるために、平の先生の代表が一人ぐらい出てきてもいいかなと思う。

教育長

では、今いただいた意見を参考に今後人選や役職等を考えたいと思うがよろしいか。ありがとうございました。

(2) 給食費半年無償化について

学校教育課長 説明・・・今年度4月から9月末まで、国の地方創生臨時交付金を活用し、つつじ幼稚園・小学校・中学校の給食費を無償化する。

(3) デジタル教科書について

学校教育課長 説明・・・英語のデジタル教科書は小中全て国費により導入されたが、数学と算数については、国からの支給が全学校の半数程度しかされないということだったので、3月補正で予算化をし、全ての学校に導入した。

(4) 電子図書導入について

学校教育課長 説明・・・大村高先生のご寄附を活用し、電子図書がGIGA端末へ導入されることとなった。4,200冊の蔵書があり、幅広い活用が期待される。

(5) その他

英語の授業体制について

学校教育課長 説明…全 ALT7人と JTE2人が特別免許を取得し、今年度から担任がいなくても授業ができることになった。ALT の呼称を NLT(ネイティブラングエッジティーチャー)とし、オールイングリッシュの授業も可能となった。

以上で議事を終了する。

議事終了